

## 【別紙 4】 対象用地近傍の土質条件







# ボーリング柱状図

調査名 那覇浄化センター2系2号最初沈殿池詳細設計業務委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	R1C-1	調査位置	北緯
発注機関	調査期間		令和2年1月9日～2年1月10日 東経
調査業者名	電話	主任技師	現場代理人 照屋 優 鑑定者 照屋 優 ボーリング責任者 仲間 豊
孔口標高	EL= 3.61m	角	180° 上 0° 下 0°
総掘進長	12.22m	方	北 0° 東 90° 西 270° 南 180°
地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機 YBM-050A-2 エンジン ヤンマーTF90V-E
ハンマー落下用具	ポンプ		半自動落下装置
			タイシンSR55

標尺 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	標準貫入試験				N値	原位置試験	試験名および結果	深さ (m)	試験番号	採取方法	室内試験 ( )	掘進月日	
								深さ (m)	10cmごとの打撃回数	10	20									30
1			埋土・硬泥じり粘土	褐色			表層より0.50m間は、新築材の砂礫 GL-0.50~1.0m間は、粘土 GL-1.0m以深より石灰岩塊やガラス片、レンガ片を所々に挟む埋土	1.15	3	4	5	12								
2			淡灰	褐色			海成砂 全次に砂質は細砂主体 層内に投サンゴ塊や貝殻片を所々少く含む 粒径はφ=2~10mm程度の凝結土体	1.45	3	3	6	12								
3	0.61	3.00	シルト質砂	褐色			沖積層 全体的に固結度は弱い状態 層内に投サンゴ塊やサンゴ岩塊、貝殻片の混入が多く含む 粒径はφ=2~20mm程度	2.15	2	2	4	8								
4	-0.39	1.00	淡灰	褐色			沖積層 全体的に固結度は弱い状態 層内に投サンゴ塊やサンゴ岩塊、貝殻片の混入が多く含む 粒径はφ=2~20mm程度	3.45	2	3	5	10								
5			シルト混じり砂礫	褐色			沖積層 全体的に固結度は弱い状態 層内に投サンゴ塊やサンゴ岩塊、貝殻片の混入が多く含む 粒径はφ=2~20mm程度	4.15	4	3	5	12								
6			淡灰	褐色			沖積層 全体的に固結度は弱い状態 層内に投サンゴ塊やサンゴ岩塊、貝殻片の混入が多く含む 粒径はφ=2~20mm程度	5.15	1	2	1	4								
7			淡灰	褐色			沖積層 全体的に固結度は弱い状態 層内に投サンゴ塊やサンゴ岩塊、貝殻片の混入が多く含む 粒径はφ=2~20mm程度	6.15	1	2	4	7								
8			淡灰	褐色			沖積層 全体的に固結度は弱い状態 層内に投サンゴ塊やサンゴ岩塊、貝殻片の混入が多く含む 粒径はφ=2~20mm程度	7.15	2	2	2	6								
9	-5.30	5.00	淡灰	褐色			沖積層 全体的に固結度は弱い状態 層内に投サンゴ塊やサンゴ岩塊、貝殻片の混入が多く含む 粒径はφ=2~20mm程度	8.15	50	5	5	300								
10			淡灰	褐色			沖積層 全体的に固結度は弱い状態 層内に投サンゴ塊やサンゴ岩塊、貝殻片の混入が多く含む 粒径はφ=2~20mm程度	9.15	31	19	5	50								
11			淡灰	褐色			沖積層 全体的に固結度は弱い状態 層内に投サンゴ塊やサンゴ岩塊、貝殻片の混入が多く含む 粒径はφ=2~20mm程度	10.15	50	5	5	100								
12	-8.61	3.22	淡灰	褐色			沖積層 全体的に固結度は弱い状態 層内に投サンゴ塊やサンゴ岩塊、貝殻片の混入が多く含む 粒径はφ=2~20mm程度	11.00	50	5	5	6								
13			淡灰	褐色			沖積層 全体的に固結度は弱い状態 層内に投サンゴ塊やサンゴ岩塊、貝殻片の混入が多く含む 粒径はφ=2~20mm程度	12.15	50	7	7	211								
14			淡灰	褐色			沖積層 全体的に固結度は弱い状態 層内に投サンゴ塊やサンゴ岩塊、貝殻片の混入が多く含む 粒径はφ=2~20mm程度	12.22												

# ボーリング柱状図

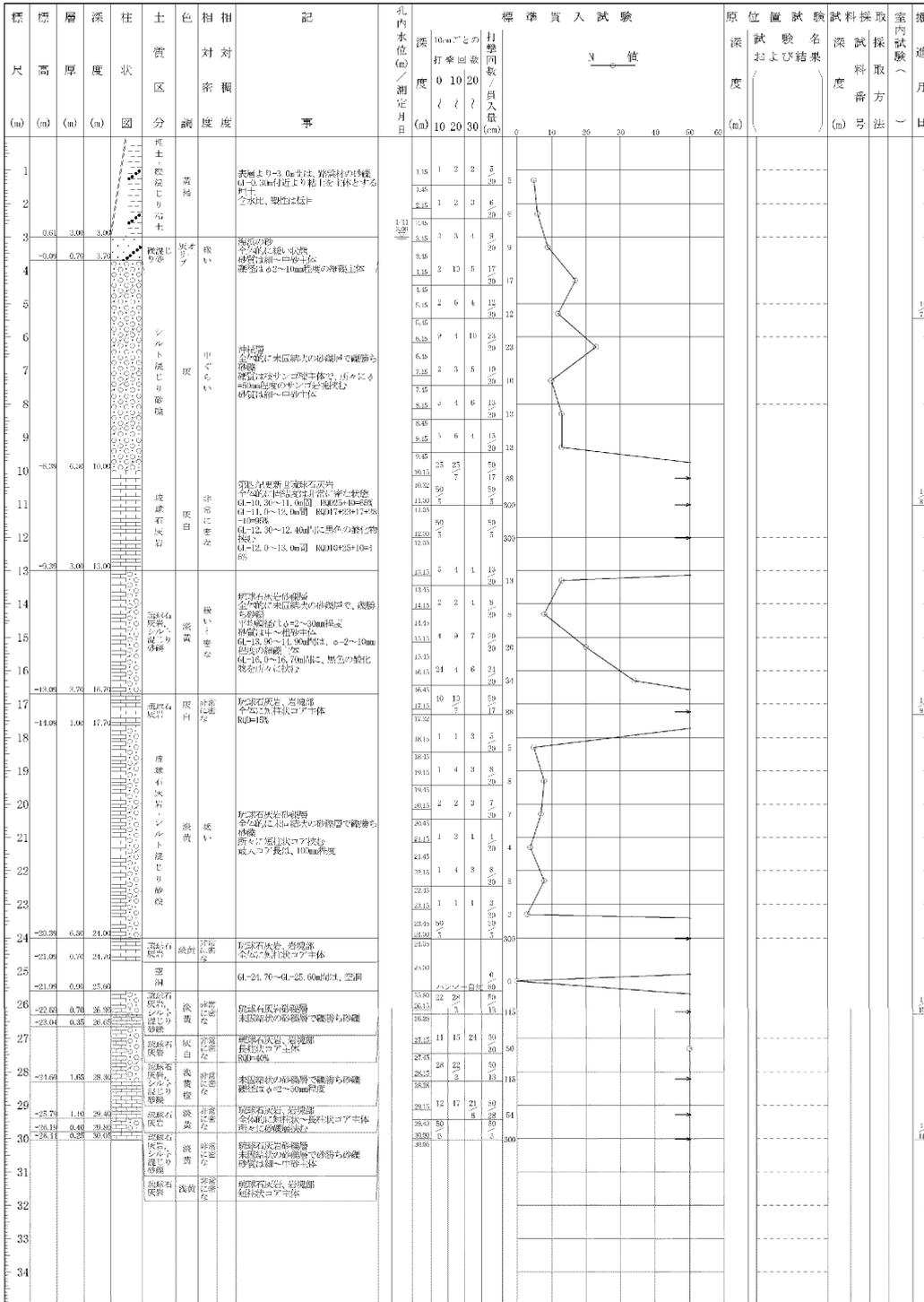
調査名 那覇浄化センター2系2号展初沈殿池詳細設計業務委託

ボーリングNo. \_\_\_\_\_

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	R1C-2	調査位置	那覇浄化センター内		北緯
発注機関					東経
調査業者名	朝人洋上土木コンサルタント 電話(098-879-4078)	主任技師	現代	場	コ
調査期間	令和2年1月7日～2020年1月11日		ア	定	者
ボーリング責任者					前里 勝
試錐機	YBM-05DA-2		ハンマー落下用具		半自動落下装置
エンジン	ヤンマーTP-90V-E		ポンプ		ダイシンSR55
孔口標高	3.61m	角	90°	方位	北緯
総掘進長	30.05m	度	90°	方位	北緯



# ボーリング柱状図

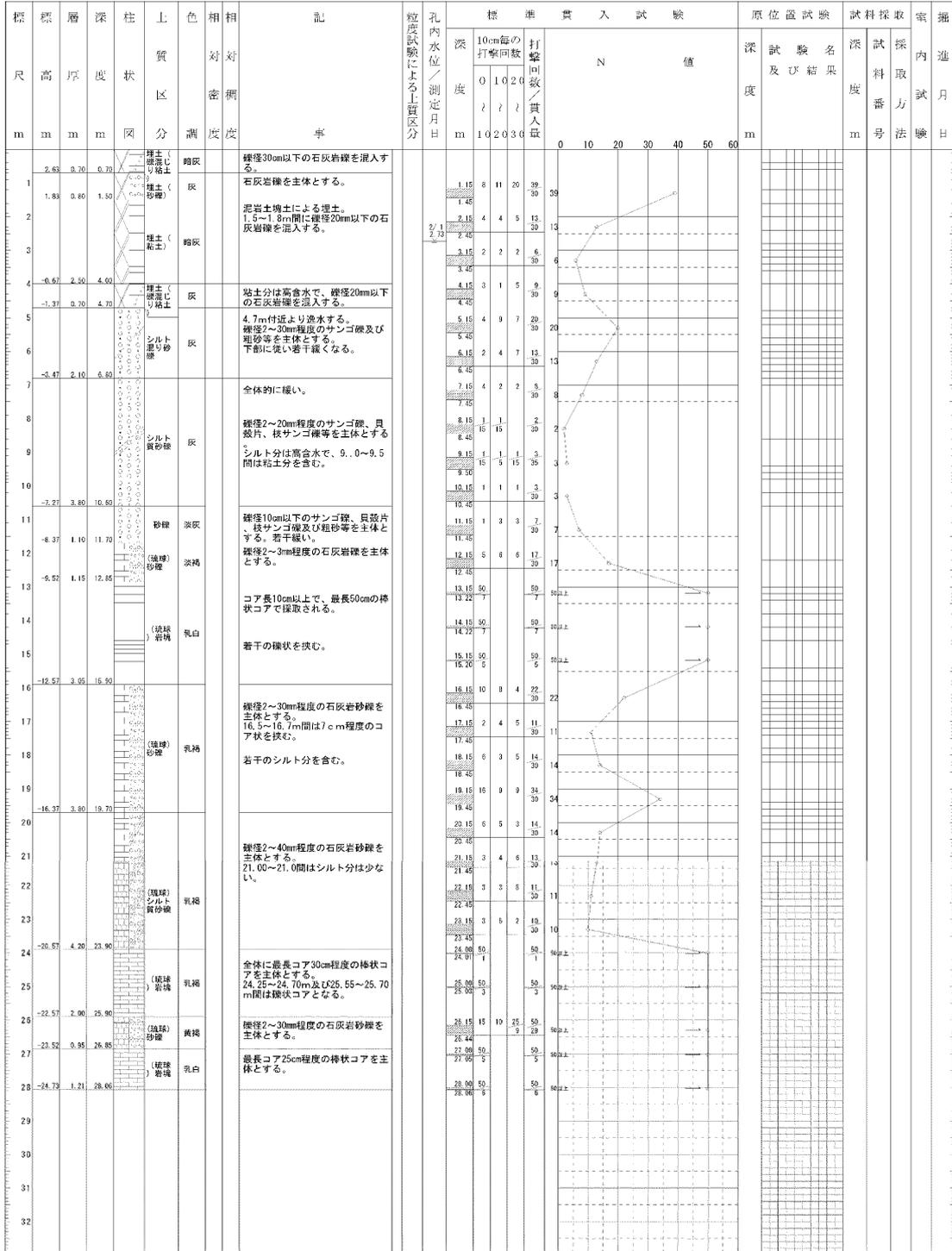
調査名 那覇浄化センターガスコンプレッサー棟等詳細設計業務

ボーリングNo. 3 9 2 7 2 5 5 3 0 0 0

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	IDカ-1		調査位置	那覇浄化センター内		北 緯	26° 12' 57.6300"													
発注機関	沖縄県土木建築部下水道建設事務所			調査期間	平成29年 1月30日～平成29年 2月 1日		東 経	127° 39' 47.8300"												
調査業者名	株式会社 日水コン 電話 06-6339-7463		主任技師	志摩 健太		現場代理人	武村 康幸		コレーサー	松田保		ボーリング責任者	知花敬							
孔口標高	E.L. 3.33m		角	180° 0°		方	北 0° 西 270° 南 180° 東 90°		地盤勾配	水平 0° 傾 90°		使用機種	試錐機 YBM-05 エンジン NSF-5		ハンマー 落下用具	半自動型		ポンプ	SR-55	
総掘進長	28.00m																			



土質柱状図

報告用紙

調査名 那覇下水処理場第2系実施設計業務

調査年月日 平成元年 7月 7日

調査地点 那覇市西地内

標高 EL = +3.41 m

~ 年 7月 7日

ボーリング孔 No. S - 5

機種 D 2 G

孔内水位(自然泥) GL - 3.11 m

調査責任者 比嘉吉男

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	観察記録				標準貫入試験						採取試料・原位置試験			
				土質記号	土質名	色調	記事	深さ m	打撃 回/30 cm	10 cm ごと の打撃 回数	74μm通過質量百分率(%)					試料 番号	測定 番号
								N 値									
								0	10	20	30	40	50	60			
0				シルト質砂礫	褐色		埋土層で上部の60cmはクラッシュランによる路盤材。	1.15	7/30	3	2	2					
1				シルト混り砂礫	灰色		0.60~2.80mはビーチコーラルによる埋土材で、枝状珊瑚礫を主体としている。	1.45									
2				砂礫			2.80m以下は島尻泥岩の破砕土による埋土材で有機物や20%前後の礫を混入している。	2.15	17/30	5	6	6					
3				砂礫				2.45									
4				礫混り粘土	暗灰色			3.15	4/30	1	2	1					
5	-0.79	4.20	4.20					4.15	10/30	2	5	3					
6				シルト混り砂礫	灰色		海浜沖積砂礫層で、枝珊瑚を主体としている。	4.45									
7				砂礫			礫径は3~30%で所々に30%以上の礫を混入。	5.15	9/30	4	2	3					
8	-4.49	7.90	3.70	シルト質砂礫	褐色		7.30~7.50mに珊瑚塊がある。	6.45	9/30	3	2	4					
9	-4.84	8.25	0.35					7.15	50/25	2	35	13/5					
10				シルト混り砂礫	淡褐色		洪積世の琉球石灰岩で、砂礫状を呈し、シルト分の含有が多い。	7.40									
11				砂礫				8.15	50/23	3	29	16/3					
12								8.38									
13				シルト混り砂礫	淡褐色		洪積世の琉球石灰岩で砂礫状を呈しているが、所々に20~30cm大の岩塊を介在するため、礫と岩塊の互層状になっている。	9.15	16/30	10	3	3					
14	-7.39	10.80	2.55					9.45									
15				玉石混り砂礫	淡褐色		洪積世の琉球石灰岩で砂礫状を呈しているが、所々に30%以上の礫が見られる。	10.15	22/30	8	8	6					
16								10.45									
17				玉石混り砂礫	淡褐色			11.15	50/8	50/8							
18								11.23									
19				玉石混り砂礫	淡褐色			12.10	50/9	50/9							
20								12.19									
21				シルト混り砂礫	淡褐色		洪積世の琉球石灰岩で砂礫状を呈しているが、所々に30%以上の礫を混入している。	13.00	反発								
22								14.15	12/30	4	5	3					
23	-10.69	14.10	3.30					14.45									
24				シルト混り砂礫	淡褐色		礫径は3~30%を主体としている。	15.15	19/30	5	7	7					
25	-12.04	15.45	1.35					15.45									
26																	
27																	
28																	
29																	
30																	
31																	
32																	
33																	
34																	
35																	
36																	
37																	
38																	
39																	
40																	

備考

注1) 試料採取方法の記号

T: シンウォールサンブラー F: フォイルサンブラー  
P: 標準貫入試験用サンブラー O: オーガー  
D: デノン型サンブラー

注2) 原位置試験方法の記号